

理想の光は未来に続く



100年ほど前に小宮小学校の教員をされた、歌人の三ヶ島霞子先生の歌
うつむきて
ゆくよりわれは
晴れやかに
み空仰ぎて
行くを好めど

記念碑の除幕式では軍道紙のメッセージカードを付けて風船飛ばし

小宮小学校が閉校

明治6年(1873年)開校の小宮小学校が五日市小学校と統合し、138年の歴史に幕を下ろしました。3月25日には地域の皆さんが組織した実行委員会による閉校記念イベントも開催され、在校生や地域の方々が、思い出の学び舎に集いました。

地域の学び舎として
138年
小宮小学校は、明治6年9月11日に、当時の乙津村

と養沢村の協議により乙津村軍道の「明光院」を仮校舎として、「日新学舎」として開校しました。その後、教育制度の改正などによる変遷を繰り返して、大正10年に現在の場所に木造2階建て校舎が建設されました。現在の校舎は、昭和40年に西多摩地区初の鉄筋コンクリート造りの建物として建設されたものです。古くは林業で栄えた小宮地域は、近年さまざまに要因で人口が減少し、児童数も著しく減りました。平成17年度から複式学級が出現し、平成22年度には全校児童数が17人となりました。このため市と保護者や地域の方々と協議を重ね、教育環境の向上には五日市小学校との統合が望ましいとの結論に至り、小宮小学校は3月31日に138年の長い歴史に幕を下ろしました。小宮小学校では、恵まれた自然環境を生かして、全校キャンパス、ヤマメの飼育、竹炭の製作、和太鼓の演奏など特色ある教育活動を行ってきました。統合した新しい五日市小学校では、和太鼓など小宮小学校の特色を取り入れた教育活動にも取り組みます。

閉校記念イベントなどを開催

3月25日に閉校記念事業が行われました。式典終了後は、小宮地域の方々が組織した閉校記念事業実行委員会の主催で、「理想の光 未来へ」をテーマに、閉校記念碑の除幕式や閉校イベントが行われ、卒業生や先生、地域の関係者など400人を超える方々が笑

顔で集いました。自然体験学校やふれあい交流事業に活用

閉校後の小学校の施設は、次のように活用します。

市内の小学生などを対象に、豊かな自然環境を生かした「小宮ふるさと自然体験学校」を開校。合わせて小宮小学校に関するメモリアルスペースや多目的利用できるコミュニティスペースを設置。高齢者を対象とした健康相談や介護予防体操などの「小宮ふれあい交流事業」を実施。問合せ 閉校式などについては：教育総務課学務係 小宮ふるさと自然体験学校 小宮ふるさと自然体験環境の森推進係 小宮ふれあい交流事業について：高齢者支援課高齢者支援係

在校生全員で小宮太鼓の演奏を披露

閉校記念イベントでは、1年生から6年生までの在校生17人による小宮太鼓の演奏が披露されました。学校行事のたびに披露され、地域の人たちにもおなじみになった和太鼓とエレクトーンの見事な演奏に、会場を埋めた皆さんから、惜しめない拍手と声援が送られました。また、小宮太鼓の指導に当たられた皆さんによる養沢太鼓の演奏も披露され、力強い太鼓の響きが、晴れ渡った養沢川のほとりにこだましました。



在校生による小宮太鼓の演奏

5月の市民相談 (予約制)

市役所
法律相談... 8日・22日
交通事故相談... 9日
不動産取引相談... 11日
税務相談... 14日
登記相談... 18日
行政相談... 23日
相続・遺言などの暮らしの手続相談... 28日
五日市出張所
法律相談... 10日
人権身の上相談... 25日
時間 午後1時30分～4時30分
予約 法律相談は、相談日の7日前の午前8時30分から電話で受け付けます。その他の相談は、随時受け付けます。
予約・問合せ 市民課市民相談窓口係(直通558-1216)

環境都市あきる野



森っこサンちゃん

郷土の恵みの森づくりを進めよう

世帯と人口

平成24年4月1日現在
世帯 33,714世帯
人口 82,008人
(前月比 26人減)
男 41,007人
女 41,001人